

阿見町温水プール整備事業 基本設計の完了について

— 学校水泳・健康・防災を支える地域の新たな拠点として 令和 11 年度の開館を目指します —

1 趣旨および経過

阿見町は、令和 6 年 3 月策定の第 7 次総合計画に基づき整備を進めている「阿見町温水プール（仮称）」について、令和 8 年 5 月に基本設計を完了しました。本施設は、阿見中学校敷地内に 25m プール（7 レーン）、温浴施設、トレーニング室等を備えるもので、町の未来を支える「子どもの学習環境の保障」「町民の健康増進」「災害への備え」を一体的に担う地域拠点として整備するものです。

基本設計に基づく事業費は約 25.53 億円で、国の交付金と交付税措置のある地方債を最大限活用し、町の実質負担を抑える計画です。令和 9 年度の工事着手、令和 11 年度の開館を目指します。

2 整備の必要性 — 3 つの政策課題への対応

本事業は、町の持続可能な行政運営に直結する次の 3 つの政策課題に同時に対応するものです。

課 題	現状・根拠と整備による効果
① 学校水泳授業の 安定的実施	町内 10 校中 8 校が民間プールを利用しています。水泳授業は年間約 10 時間が推奨される一方、授業時間は約 4 時間程度にとどまっています。 → 児童生徒の学習環境を保障します。
② 町民の健康増進 ニーズへの対応	水泳・水中歩行は関節への負担が少なく、子どもから高齢者まで安全に取り組める運動です。 令和 3 年度生涯学習アンケートでは不足する施設の 1 位が「屋内プール」（34.8%）、2 位が「スポーツジム」（30.2%）でした。 → 学校授業時間以外を一般開放することで、幅広い町民の健康増進に資する施設となります。
③ 学校プールの 老朽化への対応 (集約効果)	校内プールは築 41～56 年以上で、仮に休止中のプールを各校で再開・建替える場合、令和 30 年までに約 22 億円超を要する見込みです。 → 本事業は、複数校分の更新需要を 1 施設に集約する整備であり、運営・維持管理の効率化を図ります。

3 地域全体への貢献 — 学校・健康・防災・交流の拠点として

本施設は、学校水泳授業の場であると同時に、全町民のための公共施設として、次の機能を果たします。

① 災害時の入浴・支援機能

プールの水を生活用水へ活用、また、温浴施設は避難者の入浴支援施設としての活用を想定しています。役場・小中学校に隣接する立地特性を活かし、避難所運営を補完する役割を担います。

② 多世代交流・健康づくりの拠点

児童生徒の水泳指導、一般町民の健康教室、高齢者の水中運動、子ども向け水泳教室など、世代を超えた交流と健康づくりの場として通年で利用できます。

4 基本設計の概要

① 施設の概要

- ・所在地 茨城県稲敷郡阿見町 阿見中学校敷地内
- ・構造・規模 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上1階
- ・延べ床面積 1,972 m²
- ・敷地面積 9,932.05 m²

② 主要施設の仕様

- ・プール 25m × 7レーン（うち低床レーン2レーン）、採暖室、入水前シャワー、児童生徒更衣室、一般更衣室、バリアフリー更衣室、談話室
- ・温浴施設 浴室（男女各10人程度が入浴可能）、脱衣所
- ・トレーニング室
- ・駐車場・外構 駐車場80台、優先駐車場4台、バス駐車場4台、ロータリー等

③ 事業費（基本設計時点）

- ・設計・工事監理 約 1.43 億円
- ・建築工事費 約 21.60 億円
- ・外構工事費 約 2.17 億円
- ・備品費 約 0.33 億円

合計 約 25.53 億円（※1、※2）

※1 令和 8 年度は実施設計を予定しており、物価上昇による上振れが見込まれますが、令和 9 年度の工事発注時点で 26 億円台を目標とし、実施設計を進めます。

※2 財源につきましては、国の補助金と、交付税措置のある有利な地方債を最大限に活用いたします。これにより、町が実際に負担する一般財源を、できる限り抑える計画です。

※3 開館後の運営については、指定管理者制度の導入を予定しており、民間ノウハウによる収益確保と委託料の圧縮を図ります。

5 今後のスケジュール

- ・令和 8 年度 実施設計
- ・令和 9～10 年度 建設工事・指定管理者の選定
- ・令和 11 年度 開館予定

※ 別紙：配置図・平面図

今年度の実実施設計において、配置図・平面図は変更となる場合があります。

【お問い合わせ先】

阿見町教育委員会生涯学習課

担当：平山、村山

TEL：029-888-2526

FAX：029-888-0032

配置図



平面図

